2020年2月例会報告

日時　2020年2月8日（土）14時～17時
場所　早稲田奉仕園リバティホール

２月例会は２月８日㈯14時より、早稲田奉仕園リバティホールにて、（社）日本詩人クラブ創立70周年記念プレイベントとして開催されました。

北岡淳子会長のご挨拶の後、青山いさお氏（練馬区）、大久保しおり氏（千葉市）、浅木萌氏（甲府市）による自作詩の朗読とスピーチが行われました。

講演は中野東禅氏による「悲しみと喜びを　言語化してかがやく良寛的世界」で、物事と自己との関係性たる喜怒哀楽を、良寛さんはどのように「言語化」したのか、ということを中心に、宗教的、哲学的な深さを加えたお話をしてくださいました。

次に細野豊氏による「『アンバル・パスト詩集』より」という題のもと、詩集の朗読とスピーチが行なわれました。新型コロナの流行が始まりだしたころでしたが、参加者の心に染み入るお話でした。

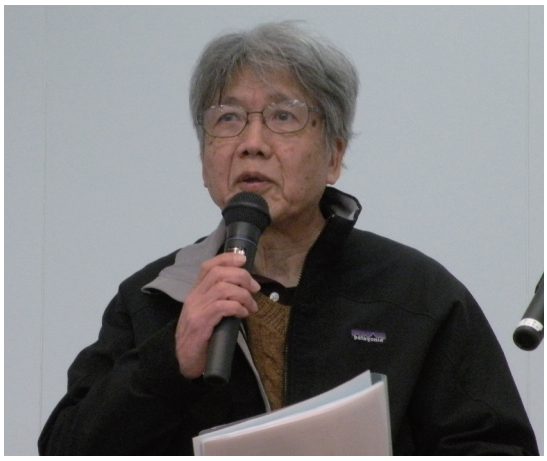
講演要旨は別掲のとおりです。司会進行は下川敬明氏と宮本苑生氏。当日の出席者は別掲のとおりです。　（文責　谷口典子）

《朗読者と朗読作品》（敬称略）

青山いさお　「赤い鎖」
大久保しおり「少女の昇天」「蜜入り林檎」
浅木　萌　　「留守宅」

講演「喜怒哀楽を言語化して輝く良寛的世界」中野東禅氏

詩の朗読とスピーチ「アンバル・パストの詩とその生き方」細野豊氏



朗読とスピーチ　青山いさお氏

朗読とスピーチ　大久保しおり氏

朗読とスピーチ　浅木　萌氏